

看護専門科目	臨床応用専門科目					
看護学科	必修	1単位	演習	平成30年度	前期	3年次
科目名	小児看護学実践論Ⅱ（治療過程にある子どもと看護） Pediatric Nursing II					
担当教員	◎溝口幸枝 石橋かず代 橋美保子 田中英行 井上莉沙					
目的	子どもに特有の健康問題を理解し、健康障害を持つ子どもと家族に対する適切な看護を実践する基礎的な能力を身につける。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもによくみられる症状と適切な看護について理解する。</li> <li>2. 子どもの健康障害の経過や発達段階に応じた看護について理解できる。</li> <li>3. 子どもの健康障害や入院が子どもや家族に与える影響について理解できる。</li> <li>4. 子どものヘルスアセスメントについて理解できる。</li> <li>5. 検査や処置を受ける子どもと家族への援助について理解できる。</li> <li>6. 子どもの事故と救急蘇生法について理解できる。</li> </ol>					
他科目との関連	小児看護学概論 小児看護学実践論Ⅰ 母性看護学実践論Ⅰ 実践基礎論Ⅰ 実践基礎論Ⅱ 広域発展看護学概論 発達とライフサイクル 家族社会学 医療安全学Ⅰ 体のしくみと疾病の成り立ち					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験				0.9
	レポート	提出状況と内容について評価する。				0.1
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 奈良間美保他 小児看護学概論 小児臨床看護学総論 医学書院</li> <li>2. 奈良間美保他 小児臨床看護各論 医学書院</li> </ol>					
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○二宮敬子, 今野美紀編集: 小児看護学概論, 南江堂</li> <li>○今野美紀, 二宮敬子編集: 小児看護技術, 南江堂</li> <li>○松尾宣武, 濱中喜代編集: 小児看護概論・小児保健, メヂカルフレンド社</li> <li>○中野綾美編集: ナーシング・グラフィカ小児看護学②小児看護技術, メディカ出版</li> <li>○岡田洋子他編集: 小児看護学Ⅰ 小児と家族への系統的アプローチ第2版, 医歯薬出版</li> <li>○浅野みどり編集: 根拠と事故防止からみた小児看護技術, 医学書院</li> <li>○石黒彩子, 浅野みどり編集: 発達段階からみた小児看護過程+病態関連図第2版, 医学書院</li> <li>○舟島なをみ著: 看護のための人間発達学, 医学書院</li> </ul>					
備考 (受講上注意、事前学習等)	<p>指定教科書、資料等は熟読して授業に臨む。</p> <p>グループワークについては、積極的に自己学習して成果へ貢献する。</p> <p>授業時に指示された課題は、レポートの評価に反映する。(提出期限厳守)</p>					